

津波から身を守るには！

◆津波に対する心得！

1 強い地震を感じたら、直ちに避難しましょう！

- 強い地震(震度4程度以上)を覚知したとき、または、弱い地震でもゆっくりした揺れを感じたら、直ちに海岸から離れ、まず安全な場所(高台)へ避難しましょう。
- 避難の基本は、「より遠くではなく、近くて高い場所」を目指して避難しましょう。
- 原則として車で避難するのはやめましょう。

2 地震を感じなくても、津波警報が発令されたら海岸から離れ、急いで安全な場所に避難しましょう。

- 小さな津波でも場所によっては、思わぬ高さに達することがあります。警報・注意報を覚知したらすぐに避難しましょう。
- 津波注意報でも、海水浴や磯釣りは危険なので行わない。

3 津波は繰り返し襲ってくるので、警報、注意報解除まで気をゆるめない

- 津波は時間をおいて、繰り返し襲ってきます。また、第1波が最大とは限りません、警報・注意報が解除されるまでは避難し、気をゆるめず注意しましょう。

4 正しい情報をラジオ、テレビ、携帯電話、防災無線などを通じて入手する！

- 延岡市では、防災行政無線(沿岸部)、災害情報メール、ケーブルテレビによるデータ放送等により情報の配信を行っております。

◆津波のここに注意！

●深海での津波の速さはジェット機なみ。沿岸部でも短距離選手なみのスピードです。

●津波は繰り返し襲ってきます。警報、注意報が解除されるまで海岸に近づかない。

●津波の前触れとして、必ず引き潮があるとは限りません。

●地形によって、津波の高さは想像以上のものになります。



◆津波に対する普段の備え！

- 家族で話し合っておく
・津波が発生したとき、どこに避難し、どう連絡を取り合うか、家族で事前に話し合っておきましょう。
- 避難場所を常に意識(確認)しておく
・特に沿岸部に滞在する場合、常日頃から、いま、地震が発生したらどこに避難すべきか、またどう行動すべきか、意識しておくことで、スムーズな避難が可能になります。とっさの場合に慌てないよう常に避難場所・避難経路を確認しておきましょう
- 非常用持出品の準備をしておく。
・避難時にすぐに持ち出せるようリュックサックなどにまとめておきましょう。貴重品などに気をとられて逃げ遅れることの無いようにしましょう。
- 避難訓練に参加しておく。
・避難経路の安全性の確認や迂回路の確保などに加え、特定のビルに避難者が集中しないためにも、地域の避難訓練などに積極的に参加しましょう。

◆災害情報メール登録情報



「災害情報メール」

お手持ちの携帯電話で、防災に関する様々な情報を得ることができます。

延岡市災害情報メールサービス

(URL: <https://bemss.jp/nobeoka/mail.php>)に直接アクセスするか、左図のQRコードを読み取ることでアクセスし、登録を行ってください。



宮崎県防災・防犯情報メールサービス

(URL: <https://www.fastalarm.jp/miyazaki/>)に直接アクセスするか、左図のQRコードを読み取ることでアクセスし、登録を行ってください。

※津波はいつ発生するか分かりません。いつ、どこで津波が発生しても落ち着いて行動できるよう、このチラシを目に付く場所に貼るなどして活用しましょう。

延岡市 総務部 危機管理室
〒882-8686
宮崎県延岡市東本小路2番地1
TEL: 0982-22-7077 FAX: 0982-34-2110
メール: bousai@city.nobeoka.miyazaki.jp